

研究評価委員会分科会の各委員からの所見について(事前評価)

課題名「室内空気に関わる汚染物質発生強度の定量化及び換気手法の整備」

1. 主な所見

- ・ 所見 : 住宅が主たる対象であることをコメントされると良い。
- ・ 所見 : 具体的な計画の記述が必ずしも十分ではない。実大モデルハウスを用いた検討か、実測か、実験と理論的の併用かなどコメントされると分かり易い。
- ・ 所見 : 研究経費として、総額のイメージがあると良い。全体として 1 億の開発費がかかるが、所内予算は 100 万程度ど後は、他機関の研究費として、他機関からの研究費が思惑より縮小すれば、どのように研究を変化させるか、記述されているとわかりやすい。
- ・ 所見 : 「必要性」の項において、「実用的な対策技術」という面で現状は不十分あるいは課題が多いということをもう少し具体的に述べたほうが良い。
- ・ 所見 : 家具類の放散量測定についての記述が抜けているのでは。
- ・ 所見 : 共同研究の比重が大きい、共同研究先との役割分担が明快でないので判断が難しい。
- ・ 所見 : 「高精度で簡便な」についてのより具体的な目標があったほうが良い(例えばコスト)。
- ・ 所見 : フィールド調査を実施するとするならば、委員会でもして気があったように、予算が少ないのではないかと。無理がかからぬように実施されたい。
- ・ 所見 : 設備、機器の開発と比べて、評価手法の開発には外部資金が得にくいように思いますが、研究開発経費の点が気になります。担当者のエフォートについては適切。
- ・ 所見 : 必要性の観点からも、また成果を出易く基礎的な準備段階の研究がすでに相当進んでいる点からも、時宜を得ている。それだけに所定の期間内に実用に耐える完全な結果を出してほしい。成果の目標については今少し具体的に提示した方がよいか？

2. 主な所見に対する回答

- ・ 所見 に対する回答: 研究の目的の項で、主として住宅を研究対象とする旨追記いたします。
- ・ 所見 に対する回答: 「5. 研究開発の概要」の項に追記をしました。
- ・ 所見 に対する回答: 他機関との連携内容に関する記述を追加しました。また、経費を再検討し、化学物質放散量に関する測定及び、木材腐朽菌に関する実験準備の部分の外注費を要求額として積み増ししました。
- ・ 所見 に対する回答: 「具体的には、躯体内部からの化学物質の放散対策や家具等の建材以外の発生源に関する知見、より効率のよい換気システム等である。」という記述を追加しました。
- ・ 所見 に対する回答: 8の に家具に関する実測に関する項目を追加いたしました。
- ・ 所見 に対する回答: 他の機関との連携の項に、説明を追加いたしました。
- ・ 所見 に対する回答: 目標とする精度・コスト等を、15. に記述しました。
- ・ 所見 に対する回答: フィールド実測は換気システムの性状評価に関してのみ実施する予定です。経費増が認められ難い状況ですので、民間や大学との共同研究によって補いたいと考えます。
- ・ 所見 に対する回答: 経費の見直しを行い、外部への委託分についての要求増をすることといたしました。
- ・ 所見 に対する回答: 15の項における「目標とする成果」の記述を追加いたしました。